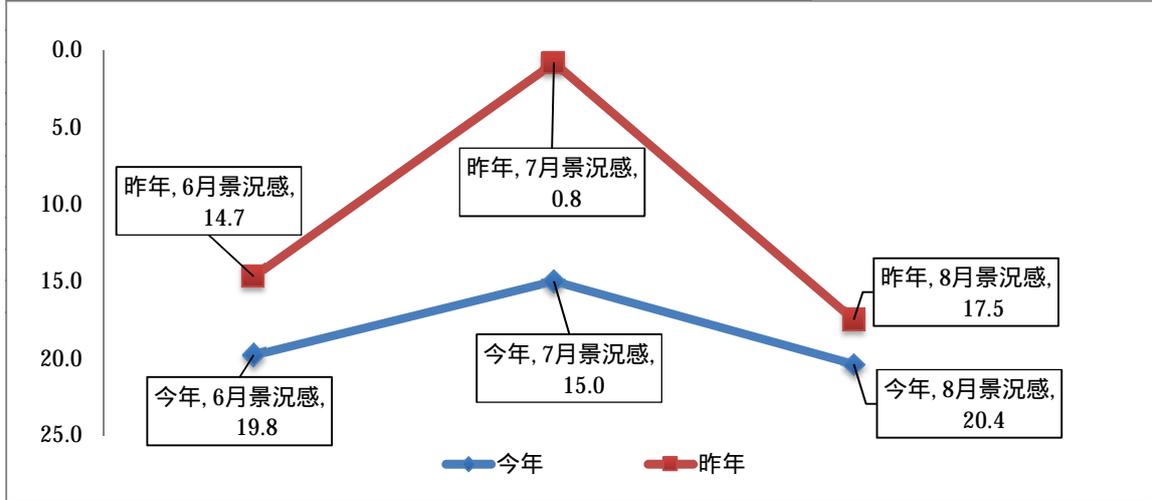
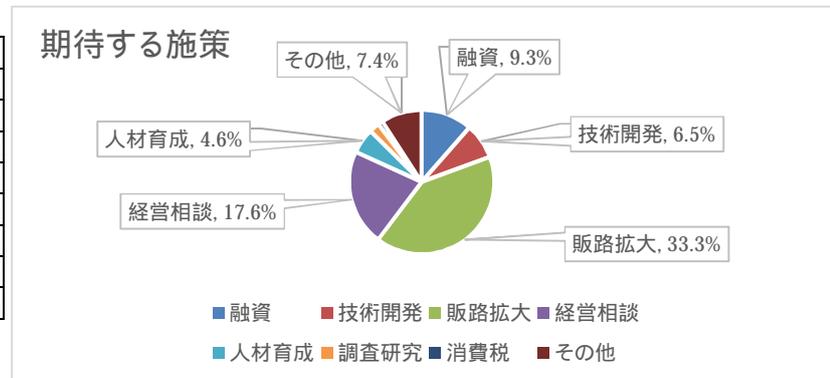


平成28年度会員景況調査(8月)

	6月景況感	7月景況感	8月景況感	2~3カ月先の景況感	H28年度アンケート回答企業数	
今年	19.8	15.0	20.4	14.8	H28.8	108件
昨年	14.7	0.8	17.5	24.3	H28.4~8	626件



期待する施策	割合 (%)
融資	9.3%
技術開発	6.5%
販路拡大	33.3%
経営相談	17.6%
人材育成	4.6%
調査研究	1.9%
消費税	0.9%
その他	7.4%



(会員の声)

- ・近年は、9月いっぱいまで売上の減少が続く。夏場は業界全体で良くない(生菓子製造小売)
- ・季節的要因で売上好調(飲料卸売業)
- ・国内需要は少ないが、海外からの来客が増加(さつき生産販売)
- ・毎年、夏休みの売上が落ちている感覚。若者は、大型商業施設へ行ってしまう(カラオケ店)
- ・夏休みの影響もあり、前月比130%の売上(飲食業)
- ・イベントでのレンタル受注が増加(レンタル業)
- ・工場の増築用の取引が増えてきている(不動産業)
- ・自動車関連メーカーからの受注は好調(精密切削加工)
- ・8月はほとんど休めず、下請けがメインで元請できる状況ではなかった(土木工事業)
- ・一部海外生産の移行が計画され、受注量は減少見込み(精密切削加工)
- ・受注単価は変化なし。受注量は毎年微減傾向(園芸用土製造)
- ・この先も価格の不安定が継続すると恐れ利益を圧迫(食肉小売業)
- ・原料価格の上昇で利幅が薄い(園芸用土採取業)
- ・売上が増加する反面、資材価格も高騰し、利益が読みにくい(建築業)
- ・原料価格、人件費高騰で利益確保に繋がらない(飲食店)
- ・新規受注による機械購入資金の借入を考えている(機械修理業)
- ・新卒・途中で2~4名ほど、確保したい(サービス業)
- ・定着率は良くなってきているが、それでも2~3カ月で辞めてしまう従業員が4人に1人の割合で発生している(飲食業)
- ・一人で請け負える範囲で受注しているが、人手が足りず同業者に応援を頼むことが増えている(建築業)
- ・業界全体で不足気味、募集しても全く応募がないと話している同業者が多い(土木工事業)
- ・仕入れ単価が高止まり(食肉小売業)
- ・人口減少、常連客の高齢化による減少。コンビニや大型店での利便性で厳しい状態(菓子製造小売業)